瑞穂市立南小学校で防災講座を行いました

令和８年１０月２８日（水）、瑞穂市立南小学校で４年生７８名に水害と地震の防災講座を行いました。学校周辺は、洪水で浸水が想定されており、液状化危険度も極めて高く、災害リスクの高い地域です。

水害の講座では、瑞穂市でも被害のあった伊勢湾台風や今年で発生から５０年の節目にあたる９.１２豪雨災害を学習しました。映像による浸水疑似体験では「怖い」との声があがり、「警報が出たらすぐに避難することが大事だと思った」「すぐに逃げられるように準備をしておきたい」などの感想がありました。

地震の講座では、岐阜県で甚大な被害が発生した濃尾地震や令和６年能登半島地震、令和８年熊本地震などを学習しました。また、液状化現象や長周期地震動、五重塔・東京スカイツリーなどの高層建築物に制振の役割を担う心柱について、映像と実験を通して確認しました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

水害







地震





